

申込み・問い合わせ先： 弘前大学北日本新エネルギー研究所（事務局）

TEL：017-735-3363

FAX：017-735-5411

E-mail：njne@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL：http://njrise.cc.hirosaki-u.ac.jp/

**文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
平成25年度 弘前大学講演会「課題解決型学習の実践と課題」開催のお知らせ**

弘前大学では、文部科学省G P「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成の取組みを行ってきました。この事業において弘前大学は、「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」を取組テーマとして掲げ、人文学部と農学生命科学部を中心に課題解決型学習（PBL）に積極的に取り組んでいます。

そうした取組は、学生の学習に対する主体性を高めるなど効果を上げてきている一方で、効果的な課題解決型学習はどのようなものか、また、学生の評価をどのように行えばよいのかなどの課題も明らかになってきています。

そこで、効果的な課題解決型学習の取り組み方やその課題について、先進的な取組を行っている大学の事例報告をもとに考えていくことを目的とした講演会を開催します。

この講演会を通して、学生の社会人基礎力の向上、また、学生が将来のキャリアを考えるための機会として、課題解決型学習を教育にどのように取り込み、実践していけばよいのか、参加者とともに考えていきたいと思えます。

1. 日 時： 2013年10月18日（金）13：00～15：30

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール

3. プログラム：

(12：30～)

【受付開始】

13：00～13：05

開会挨拶

弘前大学理事（教育担当）中根 明夫

13：10～13：55

基調講演 1

演 題：『課題解決型学習で「企業が求める力」は育成できるのか』

北九州市立大学キャリアセンター 准教授 見館 好隆 氏

13：55～14：45

基調講演 2

演 題：『課題解決型学習による農力の育成』

新潟大学農学部 教授 箕口 秀夫 氏

14：45～15：25

意見交換

15：25～15：30

閉会挨拶

弘前大学人文学部長

今井 正浩

4. 参加対象： 本学教職員、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム加盟大学教職員、その他関係機関

5. 参加費： 無 料



6. 主 催： 弘前大学

7. 参加申込： 参加を希望される場合は、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、下記担当まで10月9日（水）までに、eメール等でお申し込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学人文学部
地域連携人材育成事業事務局（総合教育棟2階） 中屋敷 雅江
TEL・FAX：0172-39-3978
E-mail:gp@cc.hirosaki-u.ac.jp

「第13回青森糖質研究会」開催のお知らせ

1. 日 時： 2013年10月18日（金）14:00～17:05

2. 会 場： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 8階
八甲田ホール

3. テーマ： 『新展開を生み出す糖質利用の新たな視点』

4. 対 象： 一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、
多数の参加をお待ちしております。

5. プログラム：

14:00～14:10〈開会の挨拶〉 青森糖質研究会 会長 加藤 陽治

14:10～16:55〈講演〉

1. 「米粉パンに適した品種適正および加工技術～米粉需要拡大を目指した技術開発～」
濱田 茂樹 氏（弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科）

2. 「良食味米飯を得るための調理科学」
新井 映子 氏（静岡県立大学 食品栄養科学部）

3. 新技術紹介「リンゴ剪定枝を原料とした活性炭の開発」
廣瀬 孝 氏（青森県産業技術センター 工業総合研究所）

16:55～17:05〈閉会の挨拶〉 青森糖質研究会 副会長 市田 淳治

6. 主 催： 青森糖質研究会

共 催： ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

後 援：（公財）水谷糖質科学振興財団

7. 参加費： 無料

8. 事前申込： 下記問い合わせ先までお申し込みください。

※ 研究会終了後（17:30～19:30）、コラボ弘大1階 コミュニティスペースにて交流会を予定しております。（会費 一般：3,000円、学生：1,000円）

第13回 青森糖質研究会
新展開を生み出す糖質利用の新たな視点
日 時：平成25年10月18日(金) 14:00～17:05
場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階
『八甲田ホール』 参加費 無料
＜プログラム＞
14:00～ (開会の挨拶)
14:10～ 講演1:「米粉パンに適した品種適正および加工技術～米粉需要拡大を目指した技術開発～」
弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科 濱田 茂樹 氏
15:00～ 講演2:「良食味米飯を得るための調理科学」
静岡県立大学 食品栄養科学部 新井 映子 氏
15:50～16:05 休 憩
16:00～ 講演3: 新技術紹介「リンゴ剪定枝を原料とした活性炭の開発」
青森県産業技術センター 工業総合研究所 ものづくり技術部 主任研究員 廣瀬 孝 氏
16:55～ (閉会の挨拶)
交流会: 17:30～19:30
会 場: コラボ弘大1階 コミュニティスペース
会費 一般: 3,000円 学生: 1,000円
主催: 青森糖質研究会 会長 加藤 陽治
共 催: ひろさき産学官連携フォーラム 弘前大学 農学生命科学部
日本応用糖質科学会東北支部 弘前大学 食品栄養科学科
青森県産業技術センター 糖質工学課長
後 援: (公財)水谷糖質科学振興財団 副 長 市田 淳治
場 所: (公財)水谷糖質科学振興財団 副 長 市田 淳治
TEL: 0172-39-3978 Fax: 0172-39-3978
E-mail: ksh@cc.hirosaki-u.ac.jp

※ 詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

申込み・問い合わせ先： 青森糖質研究会事務局

弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 柿崎 育子

TEL：0172-39-5015

E-mail：kaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

2013年弘前大学白神研究会 秋の観察会 ～晩秋の高倉コース～

そろそろ秋も深まって、津軽峠付近は落葉が始まっているでしょう。
ですが、高倉コースの中程以下は紅葉の盛りだと思います。ふるってご参加ください。

1. 日 時：2013年10月19日（土）10：15～15：30（雨天決行）
2. 集 合：西目屋村アクアグリーンビレッジ・ANMON駐車場
（お車をお持ちでない方はお申し出ください。9時に弘前大学正門集合です。）
3. コース：津軽峠－高倉コース－アクアグリーンビレッジANMON
4. 参加可能人数：20名
5. 対 象：小学4年生以上の方（小・中学生は、保護者同伴でお願いします。）
6. 服装・装備：服装は、通常のハイキングの服装でけっこうです。低温・雨の可能性があるので、上着・雨具をお持ちください。お弁当、飲み物は各自でご用意ください。
7. 参加費用：1人 1,000円（テキスト・傷害保険代金）＋バス代400円
8. 主 催：弘前大学白神研究会
9. 事前申込み：下記申込み・問い合わせ先までお申し込みください。
10. 申込締切：10月16日（水） ※定員になり次第締め切ります。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所 中村、山岸

TEL・FAX：0172-39-3707、3706

白神マタギ舎 牧田 肇

TEL・FAX：0172-88-1881

シンポジウム「東日本大震災後の農漁村地域の復興と持続可能性」開催のお知らせ

東日本大震災後の持続可能性を重視した農漁村の地域づくりと復興の法的論点について、ドイツと日本の農業法や環境法を専門とする早稲田大学の棚澤教授（法社会学）の講演などから学び、意見交換を行います。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年10月19日（土）15：00～17：00（予定）

2. 場 所： 弘前大学人文学部棟4階 多目的ホール
3. 対 象： 学内外問わずどなたでも参加可能
※事前申込みは不要です。入場無料です。
4. 内 容： 第一部 講演
 棚澤能生（くるみさわ・よしき）（早稲田大学法学部）
 「戦後農地法制度の体系：持続可能社会への展望と阻害」

 第二部 被災地の現状報告と意見交換
 李永俊（弘前大学人文学部）
 「岩手県野田村の住民アンケート調査結果から」など
5. 主 催： 弘前大学人文学部
 （平成25年度人文学部戦略経費「東日本大震災後の東北地方のQOLと労働福祉法政策研究」）

※ 詳細（随時更新）については、下記URLをご参照ください。
<http://www.saibanhou.com/sympo2013b.html>

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 飯考行（いい・たかゆき）
TEL：0172-39-3958
E-mail：iit@cc.hirosaki-u.ac.jp

第38回弘前大学経済学会大会開催のお知らせ

1. 日 時： 2013年10月25日（金）14：00～17：15
2. 会 場： 弘前大学人文学部4階 多目的ホール
3. 対 象： どなたでも参加可能
4. プログラム：
 1. 開会挨拶
 細矢 浩志 会長（弘前大学人文学部 教授） 14：00～14：05
 2. 講 演
 北野 重人 氏（神戸大学経営経済研究所准教授）14：10～15：30
 『新興市場国への資本流入問題に関するマクロ的分析
 －世界金融危機後の新たな課題と政策』
 3. 研究発表（1）
 恩田 睦 氏（弘前大学人文学部 講師） 15：40～16：25
 『弘南鉄道の経営展開と菊池武憲』
 - 研究発表（2）
 李 永俊 氏（弘前大学人文学部 教授） 16：30～17：15
 『労働経済学の観点からみた災害復興の現状と課題
 －岩手県野田村の村民アンケート調査結果から』

※ 学会への参加申込は不要です。参加費は無料です。

- ※ 学会終了後、本学文京キャンパス周辺のお店を会場として、懇親会を行います。
懇親会に参加される方は、学会開催の2～3日前までに事務局 鈴木までご連絡ください。
会費は5,000円程度を予定しています。

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 鈴木和雄
TEL・FAX：0172-39-3271
E-mail：suzukiks@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学総合文化祭「知の創造」
保健学研究科「市民公開講座」のお知らせ**

『がんの放射線治療』をテーマに市民公開講座を開催いたします。
事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月25日（金）17：30～19：00
2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール
3. テーマ： 『がんの放射線治療』
4. 内 容： 講演1 「放射線治療器とはどんな装置？」
廣田 淳一 先生
(弘前大学大学院保健学研究科准教授)
講演2 「地域医療としてみた高齢者がん放射線治療」
真里谷 靖 先生
(弘前大学大学院保健学研究科教授)
5. 入場料： 無 料
6. 対 象： 一般市民および本学学生
7. 共 催： 平成25年度学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム活性化支援補助金
対象事業



問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ
TEL：0172-39-5905

第7回 弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ

1. 日 時： 2013年11月9日（土）13：00～15：30
2. 会 場： ヒロロ4階 弘前市民文化交流館（弘前市大字駅前町9-20）
3. 内 容： 弘前大学医学部附属病院の専門医による、移植を用いた小児がん治療と最近の放射線治療についてそれぞれの立場から、市民の皆様にはわかりやすく講演致します。講演後に質疑応答の時間を設けております。

4. プログラム：

○演題1 「がん治療における最近の放射線治療の進歩」
(60分程度)

講師 弘前大学医学部附属病院放射線科教授
高井 良尋

○演題2 「造血幹細胞移植を用いた小児がんの治療」
(60分程度)

講師 弘前大学医学部附属病院小児科教授
伊藤 悦朗

○質疑応答 (20分程度)

4. 対象： 一般市民 (事前の申込みは不要です)

5. 入場料： 無 料

6. 主催： 弘前大学医学部附属病院 腫瘍センター

共 催： 次世代がん治療推進専門家養成プラン

後 援： 弘前市

問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室
TEL：0172-39-5174

ひろがれ「弁当の日」開催のお知らせ (再掲)

香川県のある小学校からはじまった「弁当の日」。この日、こどもたちは親の手を借りず自分の力だけで弁当を作ります。この体験を通して、食の大切さや家族の愛情に気づき、自立心を養っていくのです。

今回のシンポジウムでは「弁当の日」の取り組みを通じて、食事を作ることの大変さ、一緒に食べることの楽しさ、食への感謝、そして心身の健康について、家族をもつ皆さん、これから親になる皆さん・大学生・保育士・学校の先生・医療関係者・農業生産者などの皆さんに参加していただき、「食育」について「学び・考え・行動する」きっかけにさせていただけたらと思い企画しました。

みなさんと一緒にここ弘前から弁当の日をひろめていきましょう。

1. 日 時： 2013年10月12日 (土) 13:00 ~ 16:45

2. 場 所： 青森県武道館
(青森県弘前市大字豊田2丁目3)

3. 対 象： どなたでも自由にご参加いただけます。

4. 講 師： 前香川綾上中学校校長 竹下和男 氏
助産師 内田美智子 氏
西日本新聞社編集委員 佐藤 弘 氏
弘前大学大学院医学研究科長・医学部長 中路重之 氏



5. 主 催： 弘前大学、弘前大学生協同組合

6. 申込方法： F A XまたはWEB（携帯可）でお申込みください。

「F A X申込用紙」を下記のホームページからダウンロードすることも可能です。

2名以上で参加される場合は、全員分についてご記入ください。

代表者以外の方はお名前、年齢のみで結構です。

《F A Xの場合》

F A X送付先 0 1 7 2 - 3 6 - 6 9 6 5

※参加申込用紙[PDF]または、参加申込用紙[Excel]をダウンロードしてご使用ください。

《WEBの場合》

下記URLからお申込ください。

URL：<http://www.hirosaki.u-coop.or.jp/bento/>

7. 申込受付期間： 2 0 1 3年8月10日（土）～10月6日（日）

※但し、定員1000名に達し次第受付を終了します。

※参加申込みされた方へ9月後半から随時、「参加証（はがき）」をお届けしますので、当日ご持参ください。

※お申込人数を超えた場合は、恐れ入りますが来場制限する場合がございます。

※無料シャトルバス、お弁当をご利用の方は事前予約が必要です。

お早めにお申し込み下さい。

問い合わせ先： 弘前大学生協同組合

TEL：0 1 7 2 - 3 4 - 4 8 0 6

第15回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2 0 1 3年10月31日（木）13：00～15：30
2 0 1 3年11月14日（木）13：00～15：30

2. 会 場： 弘前大学医学部コミュニケーションセンター
（駐車場はありません）

3. 対 象： 市民の方々（先着順で30名様）

4. 参加費： 無 料

5. プログラム：

第1回：10月31日（木）13：00～15：00

「家庭でできる感染予防 ～自分・家族を守る方法～」

「知って得するおむつのはなし

～おむつの当て方のコツ、皮膚トラブルの対処まで～」

第2回：11月14日（木）13：00～15：30

「健康的ないきいき生活のちょっとしたコツ

～生活習慣見直しのきっかけになります！～」



※看護の専門領域で活躍するナースが講師となり、実際に即した方法をお伝え致します。
※講義は1回のみ参加も可能です。申込時にお知らせください。
※第2回目は、簡単な運動もありますので動きやすい服装でおいでください。

6. 受付期間： 2013年10月1日（火）～10月18日（金）
9：00～17：00（土曜日、日曜日、祝祭日を除く）

7. 主催： 弘前大学医学部附属病院 看護部
(この事業は、社団法人青森医学振興会の助成金で運営されております。)

申込み・問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院地域連携室 福士明美
TEL：0172-39-5337

**文部科学省「情報ひろば」にて
弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ（再掲）**

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』について、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。

これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等： 2013年8月1日（木）～11月末（予定）
月曜から金曜の10：00～18：00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所： 旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」
(東京都千代田区霞が関3-2-2)

3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

【主な展示物】

○パネル展示

- ・放射線の基礎知識
- ・被ばく医療の人材育成
- ・福島県への支援
- ・活動成果の学術的情報発信 など

○実物展示

- ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介いたします。
- ・放射線測定器
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で測定できます。

問い合わせ先： 弘前大学総務部広報・国際課
TEL：0172-39-3012
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

理工学部 地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科 編「基礎物理学実験の手引き」
平成25・26年度版 第8版 第1刷（A4版、100頁、定価945円：税込）を出版しました。

～紹介文～

本書は、弘前大学理工学部地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科の各学科で開講されている基礎物理学実験の実験指導書である。自然科学や科学技術が高度に発達した現代社会において、科学技術者に求められる知識と能力はますます多様化しているなかで、科学技術者を目指す学生に求められるのは確かな基礎学力の習得である。物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問であり、大学で理工学を学ぶ学生は物理学を十分理解しておくことが重要である。本書は、力学、熱学、電磁気学に関する物理学実験の基礎を、実習を通して学習するための資料を提供する。

ご興味をお持ちの方は大学生協でお買い求め下さい。



地域の環境と生活の実験・演習」 2013年度版（第5版 第1刷）
弘前大学教育学部編（A4判、65頁、定価1,575円：税込）を出版しました。

～紹介文～

本書は、自然や環境、暮らしや生活に関する基礎的・基本的実験や演習を行なうことを通して、地域に関心を抱き、自らの科学的観察力と理解力・分析力を育てるための素養を形成することを目的として執筆された。そのため実験内容も、果物などの食品や木材を素材にしたり、水や大気をはじめ身近な生物、地層を題材にしたり、光や電気、エネルギー、衣服など暮らしや生活に密着したテーマにしている。また本書は、弘前大学教育学部地域生活専攻の必修科目「地域自然環境基礎実験」に用いるテキストである。地域の環境や生活を考える上で、有益な実験書であり、是非一読していただきたい。

ご興味をお持ちの方は大学生協でお買い求め下さい。



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029